

事業名:食農・ふくしま未来学の現地展開加速による人材育成と担い手拡大

国立大学法人 福島大学 連携市町村:南相馬市、川内村、大熊町、飯舘村

現地拠点:南相馬市小高区「福島大学 小高まちなかブランチ(仮)」※2026年7月 開設予定

事業のポイント

これまでの「復興知」事業等の成果をさらに発展させ、金谷川キャンパス(福島市)と浜通りの新たな拠点(宿泊滞在型の教育研究施設)、およびフィールドワーク先で次の取組A,B,Cを広域展開し、復興・地域再生に貢献する人材育成と定着、担い手の拡大を図る。

事業(1) 地域に根付く大学生等の人材育成

- ・取組A 食農研究を基盤とした浜通りでの専門教育と人材育成
- ・取組B 全学教育プログラム「ふくしま未来学」整備による地域人材育成と担い手拡大

事業(2) 地域住民向けの人材育成

- ・取組C 食農・ふくしま未来学の連携を活かした現地小中高生や社会人等への人材育成



新拠点「福島大学 小高まちなかブランチ(仮)」



農場基礎実習(イメージ)

人材育成・定着計画及び目標

取組A:食農研究を基盤とした浜通りでの専門教育と人材育成

- ①農場基礎実習Ⅰ、Ⅱ、②南相馬市と連携した食農実践教育プログラム、③食農地域実習(インターンシップ)

取組B:全学教育プログラム「ふくしま未来学」整備による地域人材育成と担い手拡大

- ④むらの大学、⑤協働プロジェクト学修・自主学修プログラム、⑥みらいバス、⑦むらの大学(滞在型)

取組C:地域住民向けの人材育成

- ⑧小中高 出前授業、⑨福島フォーラム、⑩まちづくりワークショップ

を実施する。



むらの大学

2026年度の活動内容

【実施】④むらの大学、⑤協働プロジェクト学修・自主学修プログラム、⑥みらいバス、

⑧小中高 出前授業、⑨福島フォーラム、⑩まちづくりワークショップ

【準備】①農場基礎実習Ⅰ、Ⅱ、②南相馬市と連携した食農実践教育プログラム、③食農地域実習(インターンシップ)、

⑦むらの大学(滞在型) ※2027年度以降の実施に向け準備・調整や試行を行う。

取組によって得られる成果

本事業の長期アウトカム(成果目標)は下記の通り。

福島県内への就職率(大学全体): 2026年度から2030年度まで35%程度(東北トップレベル)を維持(5年計1300名程度)

浜通り地域等15市町村に就職する本事業プログラム受講者数: 2030年度までに計20名

本事業による交流人口(浜通り地域等15市町村全体): 2030年度まで合計10000人(のべ人数)